ー般的なSD-WANコントロールおよびデータプ レーンの問題のトラブルシューティング

内容
<u>はじめに</u>
<u>前提条件</u>
<u>要件</u>
<u>使用するコンポーネント</u>
概要
基本設定
システム設定
<u>インターフェイス設定</u>
<u>証明書</u>
<u>コントロール接続の状態</u>
<u>コントロール接続のトラブルシューティング</u>
<u>一般的なエラーコードのエラー</u>
<u>アンダーレイの問題</u>
<u>TCPダンプ</u>
Embedded Packet Capture
FIANL-Z
<u>Admin-Techの生成</u>
<u>関連情報</u>

はじめに

このドキュメントでは、ソフトウェア定義型ワイドエリアネットワーク(SD-WAN)の一般的なコ ントロールおよびデータプレーンの問題のトラブルシューティングを開始する方法について説明 します。

前提条件

要件

Cisco Catalystソリューションに関する知識があることが推奨されます。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるもの ではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド

キュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始していま す。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認して ください。

概要

この記事は、実稼働環境で発生する問題をデバッグするためのランブックとして作成されていま す。 各セクションでは、これらの一般的な問題をデバッグする際に収集または検索する一般的な 使用例と考えられるデータポイントについて説明します。

基本設定

基本設定がルータ上に存在し、デバイス固有の値がオーバーレイ内の各デバイスに固有であることを確認します。

システム設定

<#root>

```
system
system-ip <system -ip>
site-id <site-id>
admin-tech-on-failure
organization-name <organization name>
vbond <vbond-ip>
!
```

Example:

```
system
system-ip 10.2.2.1
site-id 2
admin-tech-on-failure
organization-name "TAC - 22201"
vbond 10.106.50.235
```

インターフェイス設定

interface Tunnel0
no shutdown
ip unnumbered GigabitEthernet0/0/0
tunnel source GigabitEthernet0/0/0
tunnel mode sdwan
exit

```
sdwan
```

interface GigabitEthernet0/0/0 tunnel-interface encapsulation ipsec color blue restrict no allow-service all no allow-service bgp no allow-service dhcp no allow-service dns no allow-service icmp allow-service sshd allow-service netconf no allow-service ntp no allow-service ospf no allow-service stun allow-service https no allow-service snmp no allow-service bfd exit exit

コントローラ(vBond、vManage、およびvSmart)との制御接続を確立するために、ルータがル ーティングテーブルで利用可能であることを確認します。次のコマンドを使用して、ルーティン グテーブルにインストールされているすべてのルートを表示できます。

show ip route

vBond FQDNを使用している場合は、設定されているDNSサーバまたはネームサーバにvBondホ スト名を解決するためのエントリがあることを確認します。次のコマンドを使用して、どの DNSサーバまたはネームサーバが設定されているかを確認できます。

show run | in ip name-server

証明書

次のコマンドを使用して、証明書がルータにインストールされていることを確認します。

show sdwan certificate installed



注:エンタープライズ証明書を使用していない場合、証明書はすでにルータで使用でき ます。 ハードウェアプラットフォームの場合、デバイス証明書はルータハードウェアに 組み込まれています。仮想ルータの場合、vManageは認証局として機能し、クラウドル ータ用の証明書を生成します。

コントローラでエンタープライズ証明書を使用している場合は、エンタープライズCAの ルート証明書がルータにインストールされていることを確認します。

次のコマンドを使用して、ルート証明書がルータにインストールされていることを確認します。

show sdwan certificate root-ca-cert
show sdwan certificate root-ca-cert | inc Issuer

show sdwan control local-propertiesの出力を調べて、必要な設定と証明書が適切であることを確認します。

			10 / ··	
INTERFACE IPv4	PORT IP	₽∨4	IPv6	
PUBLIC	PUBLIC PR	IVATE	PRIVATE	
Note: Requires minimu	arneu im two vhonds to le	arn the NAT	type	
A indicates Addres	ss-port dependent m	iapp1 ng		
NAT TYPE: E indicates End-po	oint independent ma	pping		
		_		
number-active-wan-interfaces	2			
0 10.100.30.533	12	540		
0 10 106 50 225				
INDEX IP	PO	RT		
number-vbond-peers	1			
embargo-check	success			
time-since-last-port-hop	0:00:01:26			
port-hopped	TRUE			
no-activity-exp-interval dns-cache-ttl	0:00:00:20			
retry-interval	0:00:00:18			
keygen-interval	1:00:00:00			
token	-NA-	nstarreu		
subject-serial-num enterprise-serial-num	JALLY4/U/HJ No certificate i	nstallod		
serial-num	983558			
chassis-num/unique-id	ASR1001-X-JAE194	707HJ		
system-ip	10.2.2.1			
tls-port	0			
protocol	⊥ dtls			
domain-id	2 1			
dns-name	10.106.50.235			
enterprise-cert-not-valid-after	Not Applicable			
enterprise-cert-not-valid-before	Not Applicable			
enterprise-cert-status	Not-Applicable			
certificate-not-valid-after	Nov 23 07:21:37	2025 GMT		
certificate-validity	varid Nov 23 07·21·37	2015 GMT		
certificate-status	Installed			
root-ca-chain-status	Installed			
organization-name	TAC - 22201			
personality sp-organization_name	vedge TAC = 22201			

show sdwan control local-propertiesの出力をチェックする際は、次の基準がすべて満たされていることを確認してください。

- 組織名は正しく反映されています。
- 証明書の有効性は、出力を確認する時点で有効です。
- vBond FQDN/IPアドレスが正しい。
- System-ip/Site-idが正しいことを確認します。
- vBond IPアドレスは、「number-vbond-peers」のエントリで確認できます。vBond IPアドレスが表示されない場合は、ping <vBond FQDN>コマンドを使用して、vBond URLのDNS解決が行われていることを確認します。
- インターフェイスは正しい色、IPアドレスでマッピングされ、インターフェイスのステータ スはUPです。
- コントロール接続を形成するために必要なインターフェイスのMAX CNTRLが0ではありません。

コントロール接続の状態

次のコマンドを使用して、コントロール接続のステータスを確認します。

show sdwan control connection

すべての制御接続がアップしている場合、デバイスにはvBond、vManage、およびvSmartへの制 御接続が確立されています。必要なvSmartおよびvManage接続が確立されると、vBond制御接続 が解除されます。



注:オーバーレイ内にvSmartが1つしかなく、max-control connectionsがデフォルト値の 2に設定されている場合、vManageおよびvSmartへの予期される接続に加えて、vBondへ の持続的な制御接続が維持されます。

この設定は、sdwanインターフェイスセクションのトンネルインターフェイス設定で使用 できます。これは、show sdwan run sdwanコマンドを使用して確認できます。インター フェイスでmax-control-connectionが0に設定されている場合、ルータはそのインターフェ イスで制御接続を形成しません。

オーバーレイに2つのvSmartsがある場合、ルータは制御接続用に設定されたすべてのTransport Locator(TLOC)カラーで各vSmartへの制御接続を形成します。



注:vManageへの制御接続は、ルータの1つのインターフェイスカラーでのみ形成されます 。これは、ルータに制御接続を形成するように設定された複数のインターフェイスがあ る場合のシナリオです。

SD-WAN-Router#show sdwan control connections

						PEEK	
PEER	PEER	PEER	SITE	DOMAIN	PEER	PRIV	PEER
TYPE	PROT	SYSTEM IP	ID	ID	PRIVATE IP	PORT	PUBLIC IP
vsmart	dt]s	10.1.1.3	1	1	10.106.50.254	12346	10.106.50.
vbond	dtls	0.0.0.0	0	0	10.106.50.235	12346	10.106.50.
vmanage	dt]s	10.1.1.2	1	0	10.106.65.182	12346	10.106.65.

コントロール接続のトラブルシューティング

show sdwan control connectionsの出力で、必要な制御接続がすべてアップしていない場合は、

SD-WAN-Router#show sdwan control connection-history

Legend for Errors

ACSRREJ - Challenge rejected by peer.	NOVMCFG - No cfg in vmanage for device.
BDSGVERFL - Board ID Signature Verify Failure.	NOZTPEN - No/Bad chassis-number entry in ZTP.
BIDNTPR - Board ID not Initialized.	OPERDOWN - Interface went oper down.
BIDNTVRFD - Peer Board ID Cert not verified.	ORPTMO - Server's peer timed out.
BIDSIG - Board ID signing failure.	RMGSPR - Remove Global saved peer.
CERTEXPRD - Certificate Expired	RXTRDWN - Received Teardown.
CRTREJSER - Challenge response rejected by peer.	RDSIGFBD - Read Signature from Board ID failed.
CRTVERFL - Fail to verify Peer Certificate.	SERNTPRES - Serial Number not present.
CTORGNMMIS - Certificate Org name mismatch.	SSLNFAIL - Failure to create new SSL context.
DCONFAIL - DTLS connection failure.	STNMODETD - Teardown extra vBond in STUN server
DEVALC - Device memory Alloc failures.	SYSIPCHNG - System-IP changed.
DHSTMO - DTLS HandShake Timeout.	SYSPRCH - System property changed
DISCVBD - Disconnect vBond after register reply.	TMRALC - Timer Object Memory Failure.
DISTLOC - TLOC Disabled.	TUNALC - Tunnel Object Memory Failure.
DUPCLHELO - Recd a Dup Client Hello, Reset Gl Peer.	TXCHTOBD - Failed to send challenge to BoardID.
DUPSER - Duplicate Serial Number.	UNMSGBDRG - Unknown Message type or Bad Register
DUPSYSIPDEL- Duplicate System IP.	UNAUTHEL - Recd Hello from Unauthenticated peer
HAFAIL - SSL Handshake failure.	VBDEST - vDaemon process terminated.
IP_TOS - Socket Options failure.	VECRTREV - vEdge Certification revoked.
LISFD - Listener Socket FD Error.	VSCRTREV - vSmart Certificate revoked.
MGRTBLCKD - Migration blocked. Wait for local TMO.	VB_TMO - Peer vBond Timed out.
MEMALCFL - Memory Allocation Failure.	VM_TMO - Peer vManage Timed out.
NOACTVB - No Active vBond found to connect.	<pre>VP_TM0 - Peer vEdge Timed out.</pre>
NOERR - No Error.	VS_TMO - Peer vSmart Timed out.
NOSLPRCRT - Unable to get peer's certificate.	XTVMTRDN - Teardown extra vManage.
NEWVBNOVMNG- New vBond with no vMng connections.	XTVSTRDN - Teardown extra vSmart.
NTPRVMINT - Not preferred interface to vManage.	STENTRY - Delete same tloc stale entry.
HWCERTREN - Hardware vEdge Enterprise Cert Renewed	HWCERTREV - Hardware vEdge Enterprise Cert Revok
EMBARGOFAIL - Embargo check failed	

PEER TYPE	PEER PROTOCOI	PEER _ SYSTEM IP	SITE ID	DOMAIN ID	PEER PRIVATE IP	PEER PRIVATE PORT	PEER PUBLIC IP	PEER PUBLIC PORT
vbond	dtls	0.0.0.0	0	0	10.106.50.235	12346	10.106.50.235	12346
vbond	dtls	0.0.0.0	0	0	10.106.50.235	12346	10.106.50.235	12346
vbond	dtls	0.0.0.0	0	0	10.106.50.235	12346	10.106.50.235	12346
vbond	dtls	0.0.0.0	0	0	10.106.50.235	12346	10.106.50.235	12346
vmanage	dtls	10.1.1.2	1	0	10.106.65.182	12346	10.106.65.182	12346
vsmart	dtls	10.1.1.3	1	1	10.106.50.254	12346	10.106.50.254	12346
vbond	dtls	0.0.0.0	0	0	10.106.50.235	12346	10.106.50.235	12346
vbond	dtls	0.0.0.0	0	0	10.106.50.235	12346	10.106.50.235	12346
vbond	dtls	0.0.0.0	0	0	10.106.50.235	12346	10.106.50.235	12346
vbond	dtls	0.0.0.0	0	0	10.106.50.235	12346	10.106.50.235	12346
vbond	dtls	0.0.0.0	0	0	10.106.50.235	12346	10.106.50.235	12346
vbond	dtls	0.0.0.0	0	0	10.106.50.235	12346	10.106.50.235	12346
vbond	dtls	0.0.0.0	0	0	10.106.50.235	12346	10.106.50.235	12346
vbond	dtls	0.0.0.0	0	0	10.106.50.235	12346	10.106.50.235	12346

show sdwan control connection-history の出力で、次の項目を確認します。

- 指定したタイムスタンプでコントロール接続が失敗するコントローラのタイプ。
- コントロール接続が失敗したときに表示されるエラーです。エラー、ローカルエラー、およびリモートエラー用に2つの列があります。Local errorは、ルータによって生成されたエラーを示します。リモートエラーは、それぞれのコントローラで生成されたエラーを示します。出力の先頭にエラーの凡例があります。
- 繰り返し回数。同じ理由で接続が失敗した回数を示します。

一般的なエラーコードのエラー

- DCONFAIL(DTLS接続障害):このエラーは、ルータと各コントローラの間で交換された DTLSパケットが失われ、DTLSハンドシェイクを完了できないことが原因であることを示 します。この点をよりよく理解するために、ルータと各コントローラで同時パケットキャプ チャを設定できます。パケットキャプチャのさまざまな設定方法は、「<u>組み込みパケットキ</u> <u>ャプチャ</u>」セクションで共有されています。パケットキャプチャを分析する際には、一方の 端から送信されたパケットが修正されずに他方の端で受信されていることを確認することが 重要です。一方の端から送信されたパケットがもう一方の端で受信されない場合は、アンダ ーレイ回路でパケット損失があり、サービスプロバイダーに確認する必要があります。パケ ットキャプチャの取得方法の詳細については、「<u>アンダーレイの問題</u>」セクションを参照し てください。
- BIDNTVRFD(Board ID Not Verified):このエラーは、UUIDと証明書シリアル番号がコントロ ーラvEdgeリストの有効なエントリではないことを示します。次のコマンドを使用して、コ ントローラ上の有効なvedgeリストの出力を確認できます。

<#root>

vBond:

show orchestrator valid-vedges

vManage/vSmart:

show control valid-vedges

通常、BIDNTVRFDはコントローラで生成されるため、ルータのリモートエラーです。それぞれ のコントローラで、次のコマンドを使用して/var/log/tmplogディレクトリにあるvdebugファイル のログを確認できます。

vmanage# vshell vmanage:~\$ cd /var/log/tmplog/ vmanage:/var/log/tmplog\$ tail -f vdebug

CRTVERFL(Certificate Verification Failed):このエラーは、ピアから送信された証明書を検証できなかったことを示します。

これがルータ上のローカルエラーである場合は、DTLSハンドシェイクの一部として送信されたコントローラの証明書がルータで確認できなかったことを示します。この問題の一般的な原因の1つは、コントローラ証明書に署名した認証局(CA)のルート証明書がルータにないことです。次のコマンドを使用して証明書のステータスを確認し、必要なルート証明書がルータにあることを確認します。

show sdwan certificate root-ca-cert
show sdwan certificate root-ca-cert | inc Issuer

 このエラーがルータのリモートエラーである場合は、次のコマンドを使用して、それぞれの コントローラのvdebugログファイルを確認し、原因を理解します。

vmanage# vshell vmanage:~\$ cd /var/log/tmplog/ vmanage:/var/log/tmplog\$ tail -f vdebug

 VB_TMO(vBondタイムアウト)/VM_TMO(vManageタイムアウト)/VP_TMO(vPeerタ イムアウト)/VS_TMO(vSmartタイムアウト):これらのエラーは、デバイス間でパケッ ト損失が発生し、制御接続がタイムアウトしたことを示します。この点をよりよく理解す るために、ルータと各コントローラで同時パケットキャプチャを設定できます。パケットキ ャプチャのさまざまな設定方法は、「組み込みパケットキャプチャ 」セクションで共有され ています。パケットキャプチャを分析する際には、一方の端から送信されたパケットが、変 更を加えることなく他方の端で受信されていることを確認することが重要です。一方の端か ら送信されたパケットがもう一方の端で受信されない場合は、アンダーレイ回路でパケット 損失があり、サービスプロバイダーに確認する必要があります

その他のコントロール接続障害エラーコードのトラブルシューティング方法については、次のド キュメントを参照してください。

<u>SD-WANコントロール接続のトラブルシューティング</u>

アンダーレイの問題

アンダーレイのパケット損失のトラブルシューティングに使用するツールは、デバイスによって 異なります。 SD-WANコントローラおよびvEdgeルータの場合は、tcpdumpコマンドを使用でき ます。 Catalyst IOS® XEエッジの場合は、Embedded Packet Capture(EPC)およびFeature Invocation Array(FIA)トレースを使用します。

コントロール接続が失敗する理由を理解し、問題がどこにあるかを理解するには、パケット損失 がどこで発生しているかを理解する必要があります。 たとえば、vBondルータとエッジルータ が制御接続を形成していない場合、このガイドでは問題を切り分ける方法を示します。 tcpdump vpn 0 interface ge0/0 options "host 10.1.1.x -vv"

パケットの要求と応答に基づいて、ドロップの原因となっているデバイスをユーザが理解できま す。tcpdumpコマンドは、すべてのコントローラとvEdgeデバイスで使用できます。

Embedded Packet Capture

デバイスにACLを作成します。

ip access-list extended TAC
10 permit ip host <edge-private-ip> host <controller-public-ip>
20 permit ip host <controller-public-ip> host <edge-private-ip>

モニタキャプチャを設定して開始します。

monitor capture CAP access-list TAC bidirectional monitor capture CAP start

キャプチャを停止し、キャプチャファイルをエクスポートします。

monitor capture CAP stop
monitor capture CAP export bootflash:<filename>

Wiresharkでファイルの内容を表示して、ドロップについて理解します。 詳細は、『<u>ソフトウェ</u> <u>アでの組み込みパケットの設定とキャプチャ</u>』を参照してください。

FIAトレース

FIAトレースを設定します。

debug platform condition ipv4 <ip> both

debug platform packet-trace packet 2048 fia-trace data-size 4096 debug platform condition start

fia phraseのパケット出力を表示します。

debug platform condition stop
show platform packet-trace summary
show platform packet-trace summary | i DROP

ドロップがある場合、ドロップされたパケットのFIAトレース出力を解析します。

show platform packet-trace packet <packet-no> decode

その他のFIAトレースオプションについては、「<u>IOS-XEデータパストパケットトレース機能によ</u> <u>るトラブルシューティング</u>」を参照してください。

「<u>FIAトレースによるCatalyst SD-WANエッジでのポリシードロップの決定</u>」ビデオは、FIAトレ ースを使用した例を示しています。

Admin-Techの生成

詳細については、「<u>SD-WAN環境でのAdmin-Techの収集とTACケースへのアップロード:シスコ</u>

関連情報

テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人に よる翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっ ても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性につ いて法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照する ことを推奨します。